

# 特殊産業用ロボットを設計・製造 「製造業のニーズは十社十色」 まずは悩みを聞かせてください」

ナカハラ

ナカハラ(大田区大森東、江田敏雄社長、03・3766・7561)は創業以来、型にはまらない独自技術により特殊産業用ロボットを設計・製造してきた大田区の町工場である。

これまで手がけてきた製品は、道路の白線を引く機械、自動炭擦り機、橋のレントゲン測定機、羊羹自動包装機など、多種多様な特殊分野にわたる。江田社長の「当社には主力製品はありません」という言葉は、顧客のニーズに最適なオーダーメイド製品を製造できる自信の裏付けでもある。顧客の

ニーズも絶えず変化し、複雑化していく中、時代の流れに対応していかなければならないという同社の社風を象徴している言葉だ。

お客様のお悩みや「あったら良いな」というアイデアの具現化に注力してきた同社は、可能な限り

顧客のニーズを汲み取り、機械の性能・大きさを調節し、オーダーメイドロボットの納入を実現させる。ロボットの納入を通じ多種多様な産業に携わることで、新たな技術・知識の吸収にもつながる。その結果、常に成長を続け、独自性と技術力双方が評価される信頼厚い企業となった。

現在ではほぼ営業活動は行っておらず、顧客からの口コミで問い合わせが来ており、他社で実現できないロボット製造を依頼されるケースがほとんどだと言う。「お客様からのご依頼は可能な限り断りません。私たちの技術を総合的かつ独創的に活用することで、自然と新たな市場に参入することができています。そのようにして他社との差別化を図り、お客様にとって特別な存在であり続けた」と江田社長は語る。



工場内



羊羹自動包装機の製造工程